

# CE774/CE775

## 日本語版ユーザーマニュアル



### 本ドキュメントについて

本書はATENジャパン株式会社において、CE774/CE775 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2017年2月15日

ファームウェア Ver. 1.0.078 版

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

# ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

## 【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

### (1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

### (2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

### (3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

### 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

### 【補足】

- 本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行いますが、それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当代金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

## 【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<http://www.aten.com/jp/ja/>)内の「ご購入前のお問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対する保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

# 目次

---

ユーザーの皆様へ .....	i
ATEN ジャパン製品保証規定 .....	ii
製品についてのお問い合わせ .....	v
EMC 情報 .....	3
RoHS.....	3
安全にお使い頂くために.....	4
全般 .....	4
ラックマウント .....	6
同梱品.....	7
本マニュアルについて.....	8
マニュアル表記について.....	9
<b>第1章 はじめに.....</b>	<b>10</b>
概要 .....	10
特長.....	12
システム要件.....	14
コンソール.....	14
コンピューター .....	14
ケーブル .....	14
OS.....	15
<b>製品各部名称 .....</b>	<b>16</b>
CE774L/CE775L(ローカルユニット)フロントパネル.....	16
CE774R(リモートユニット)フロントパネル.....	17
CE775R(リモートユニット)フロントパネル.....	17
CE774L/CE775L(ローカルユニット)リアパネル .....	19
CE774R/CE775R(リモートユニット)リアパネル .....	19
<b>第2章 セットアップ .....</b>	<b>21</b>
ラックへの取り付け.....	21
<b>セットアップ .....</b>	<b>23</b>
製品の接地.....	23
セットアップ .....	25
接続図 .....	26

第3章 操作方法.....	27
操作モード .....	27
操作モードの選択 .....	28
デスクューおよび画像補正.....	29
PC の遠隔起動.....	30
ファームウェアのアップグレード.....	30
LED の表示 .....	31
CE774L/CE775L (ローカルユニット) .....	31
CE774R/CE775R (リモートユニット) .....	31
ホットキーセッティングモード .....	32
ホットキーセッティングモードの起動 .....	32
ホットキーセッティングモードの代替起動キー .....	33
キーボード操作プラットフォーム .....	33
ホットキー一覧表 .....	34
第4章 キーボードエミュレーション .....	35
Mac キーボード.....	35
Sun キーボード .....	37
第5章 ファームウェアアップグレード ユーティリティ .....	38
作業を始める前に .....	38
アップグレードの開始.....	39
アップグレードの成功.....	42
アップグレードの失敗.....	42
付録.....	43
製品仕様.....	43
CE774.....	43
CE775.....	45
トラブルシューティング .....	47
概要 .....	47
SPHD コネクタについて .....	47

## EMC 情報

---

### FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 のデジタル装置 Class A の規定に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)本製品による有害な干渉が発生しない。(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を全て受け入れる。

**FCC による注意:**本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

**CE による注意:**本製品は Class A に準拠した製品です。本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。その際は、ユーザーご自身にて、適切な処置を行ってください。

推奨:FCC および CE に完全に準拠するには、STP ケーブルのご使用を推奨します。

## RoHS

---

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



## 安全にお使い頂くために

---

### 全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 電源コンセントの形状が異なり、製品付属の電源アダプターを接続できない場合には電気事業者にお問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。

- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
  - 電源コードが破損した。
  - 装置の上に液体をこぼした。
  - 装置が雨や水にぬれた。
  - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
  - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
  - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

## ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

## 同梱品

---

CE774/CE775 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CE774L/CE775L(ローカルユニット) ×1
- ◆ CE774R/CE775R(リモートユニット) ×1
- ◆ USB KVM ケーブル(2L-5302U) ×1
- ◆ VGA ケーブル ×1
- ◆ 電源アダプター ×2
- ◆ ラックマウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

## 本マニュアルについて

---

このユーザーマニュアルは、CE774/CE775 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

**第1章 はじめに:** CE774/CE775 を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明します。

**第2章 セットアップ:** 迅速かつ安全に CE774/CE775 をセットアップする手順について説明します。

**第3章 基本操作:** CE774/CE775 の機能概要および操作方法について説明します。

**第4章 キーボードエミュレーション:** PC 互換キーボードから Mac キーボードおよび PC 互換キーボードから Sun キーボードへのキーボードエミュレーションマッピングに関する一覧表を掲載しています。

**第5章 ファームウェアアップグレードユーティリティ:** お使いの CE774/CE775 のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。

**付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

## マニュアル表記について

---

[ ]

入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

# 第1章 はじめに

## 概要

---

今日、様々な産業においてサーバーやサーバールームを活用することは、一般的になり、また重要になっています。情報やメディアの量が拡大しているため、メインの場所から離れた場所にある専用の部屋にサーバーを追加しなければならなくなっています。したがって、電子データの保管、検索および管理が懸案事項となっています。その解決方法は、データ全てに簡単にアクセス可能でありながら、複数台のサーバーをローカル側とリモート側から便利に操作できるというセットアップ方法です。

CE774/CE775 は USB ベースのデュアルディスプレイ対応 KVM エクステンダー (CE775 はデスキュー機能対応) で、リモートコンソールからコンピューターシステムにアクセスすることができます。このため、コンソールは便利な場所に置きながら、コンピューターシステムは例えば、埃などが多い工場現場や建設現場の過酷な環境から離れた安全な場所に置くというような使い方に、本製品は適しています。このように、ユーザーはシステム機器の距離をコンソールからかなり離して設置することができます。

CE775 は距離に応じて RGB 信号のタイミング遅延を自動的に同期させるデスキュー機能に対応しています。

CE774/CE775 の特長は下記の通りです。1) ゲイン/信号補正コントロール - 距離に応じて信号の強さを調節。2) デュアルコンソール操作 - ローカルおよびリモートコンソールからシステムの操作が可能。3) ローカルおよびリモートユニットの両方に RS-232 ポートを搭載 - シリアルデバイスが接続可能 (p.25「セットアップ」参照)。4) 値段が高く、かさばる標準ケーブルを使用する代わりに、手頃な価格のカテゴリ 5e/6 ケーブルを使用するので、配線がよりすっきりし、使い勝手がより便利で、より信頼できるデータ送信の接続が可能。

セットアップはとても簡単です。コンピューターシステムとローカルコンソールを CE774L/CE775L ローカルユニットに接続し、300mまでのカテゴリ 5e/6 ケーブルを使用してローカルユニットと CE774R/CE775R リモートユニットを接続し、そして、リモートコンソールをリモートモジュールに接続するだけです。また、CE774/CE775 は操作やセキュリティの面においても便利で、設置が困難な場合でも機密性の高いデータやメディアストレージシステムの管理に最適

です。

## 特長

---

- ◆ カテゴリ 5e/6 ケーブルを使用して、ローカルとリモートユニットを 300mまで延長し、リモートコンソールからコンピューターまたは KVM スイッチへのアクセスが可能
- ◆ デュアルコンソール操作 - USB キーボード・マウスとモニターを使ってローカルとリモートの両方からコンピューターシステムの操作が可能
- ◆ デュアルディスプレイ対応 - 2 系統のビデオ出力信号を離れた場所まで延長し 2 台のディスプレイに出力
- ◆ 解像度 - CE774:1,920×1,200@60Hz(30m)、1,600×1,200@60Hz(150m)  
CE775:1,920×1,200@60Hz(150m)、1,280×1,024@60Hz(300m)
- ◆ デスキュー機能(CE775 のみ) - 距離に応じて、信号の強さと RGB 各色のタイミングのずれを自動補正
- ◆ 自動ゲイン調節 - 距離に応じて信号の強さを自動調節
- ◆ 標準 VGA 解像度(640×480～1,920×1,200@60Hz)に対応
- ◆ ワイドスクリーン(1,440×900、1,400×1,050、1,680×1,050 および 1,360×768)対応\*
- ◆ ローカルとリモートユニットの接続に安価なカテゴリ 5e/6 ケーブルを使用 - かさばるケーブルを使用することなく、ほとんどのオフィスで使用可能なケーブルシステムを利用しながら、より早く信頼性の高いデータ接続が可能。
- ◆ プッシュボタンによる操作モード選択 - ボタンを押すだけで、ローカル/リモートおよびオート操作モードを選択可能
- ◆ オンスクリーンディスプレイ(CE775 のみ) - 直感的な OSD メニューシステムを使用して、画質を簡単に調節可能
- ◆ PC 遠隔起動 - リモートコンソールからプッシュボタンを押すだけで、ローカルコンピューターに RS-232 経由で電源投入可能
- ◆ 8KV/15KV 静電放電防止機能搭載 (接触電圧 8KV、空中電圧 15KV)
- ◆ RS-232 対応 - シリアルターミナルや、タッチパネルやバーコードスキャナー等のシリアルデバイスの接続が可能
- ◆ オーディオ対応 - ステレオスピーカーおよびマイクロフォンに対応
- ◆ 優れた音声 - 300m 延長先でも音質を維持
- ◆ 簡単セットアップ - ソフトウェア不要。デバイスをケーブルで接続するだけ。
- ◆ ラックマウント対応
- ◆ ホットプラグ対応
- ◆ Sun/Mac キーボードエミュレーション対応\*\*

---

**注意:** \*ワイド画面からの EDID データは、ローカル側のビデオ出力ポートから送出されます。ワイド画面用モードやワイド画面对応のディスプレイの場合には、モニターをローカル側のビデオ出力ポートに接続するか、ATEN の EDID エミュレーター(型番:2A-130G)をお使いください。

\*\*1. PC 互換キーボードのキーの組み合わせで Sun/Mac キーボードのエミュレーションを行います。

2. Sun/Mac キーボードはそれぞれに対応したコンピューターでしか動作しません。

---

## システム要件

---

### コンソール

- ◆ 接続するコンピューターの最高解像度に対応した VGA モニター ×2  
**注意:** DDC タイプのモニターをローカルユニットに接続する場合は、リモートユニットに接続するモニターも DDC モニターが提供する最高解像度に対応しなければなりません。

---

- ◆ USB キーボード  
**注意:** ローカルとリモートユニットに異なるメーカーや型番の USB キーボードを接続することができます。但し、マルチファンクションキーボードは標準の 104 キータイプのみに対応しています。

---

- ◆ USB マウス  
**注意:** ローカルとリモートユニットに異なるメーカーや型番の USB マウスを接続することができます。但し、左右のボタンとスクロールホイール機能のみ対応しており、それ以外のマウス機能には対応しておりません。

---

- ◆ ステレオマイクروفोनおよびステレオスピーカー (オプション)

### コンピューター

システムに接続する各コンピューターには以下のハードウェア環境が必要です。

- ◆ VGA ポート×2
- ◆ USB ホストコントローラーおよび USB タイプ A ポート

### ケーブル

- ◆ 信号の整合性を最適にするためや配置を簡単にするためにも、本製品に同梱されている USB KVM ケーブルの使用をお勧めします。
- ◆ CE774/CE775 のローカルとリモートユニットを接続するためにはカテゴリ 5e/6 ケーブルが必要です。品質のよくないケーブルを使用すると画像信号の劣化を招きますので、弊社推奨のケーブルのご使用をお勧めします
- ◆ VGA ケーブル

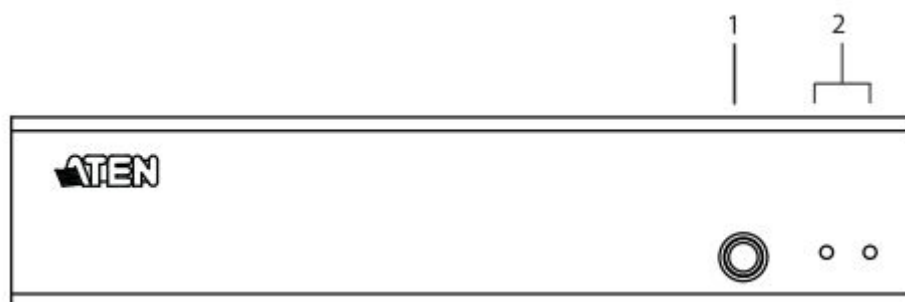
## OS

対応する OS は下表の通りです。

OS		バージョン
Windows		2000 / XP / Vista / 7
Linux	RedHat	7.1 以降
	SuSE	9.0 以降
	Mandriva (Mandrake)	9.0 以降
UNIX	FreeBSD	4.2 以降
	Sun	Solaris 8 以降
Novell	Netware	6.0 以降
Mac		OS 9 以降

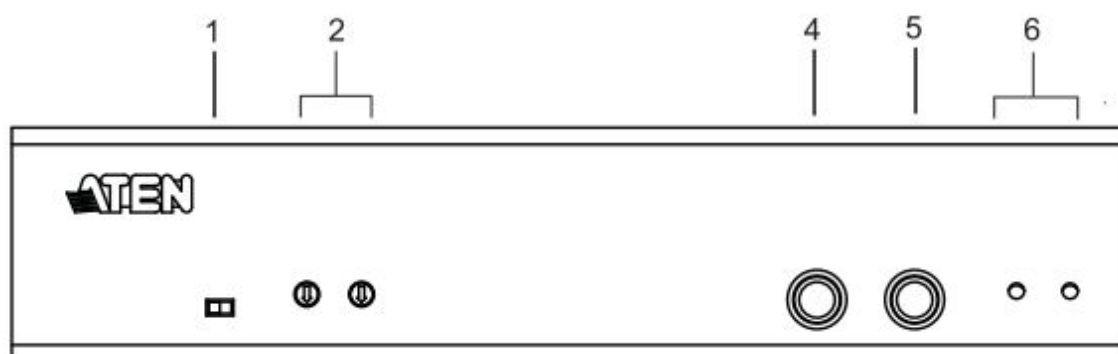
## 製品各部名称

### CE774L/CE775L(ローカルユニット)フロントパネル

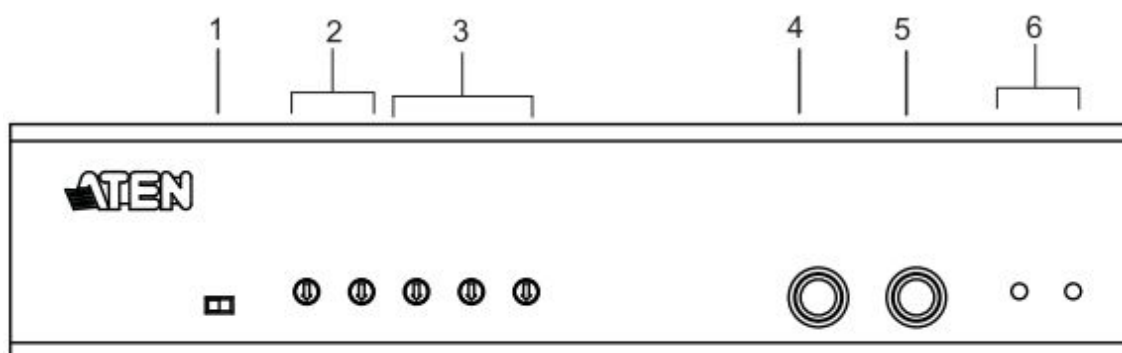


No.	名称	説明
1	操作モードプッシュボタン	<p>このプッシュボタンはローカルコンソールから利用できる操作モードを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ ローカルーローカルコンソールのみがシステムを操作できます。</li><li>◆ オートーローカルとリモートコンソールの両方からシステムが操作できます。</li></ul> <p><b>注意:</b> デフォルトの操作モードは「オート」となっています。詳細は、p.27「操作モード」をご参照ください。</p> <p>また、ファームウェアのバージョンをアップグレードする際にも使用します。詳細は p.30「ファームウェアのアップグレード」を参照してください。</p>
2	LED	<p>CE774L/CE775L には LED が 2 つあり、ローカルユニット (CE774L/CE775L) の操作状況を表示します。詳細は、p.31「LED の表示」をご参照ください。</p>

## CE774R(リモートユニット)フロントパネル



## CE775R(リモートユニット)フロントパネル

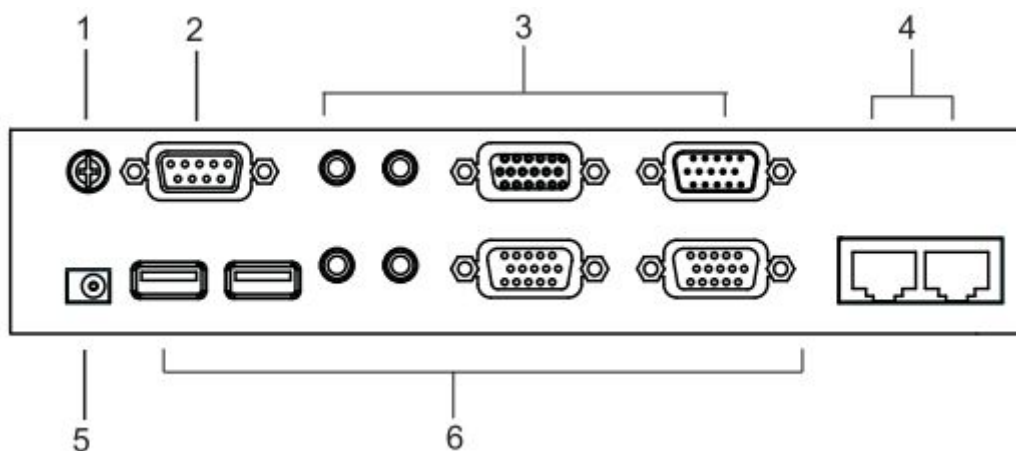


No.	名称	説明
1	ビデオ調整ポート選択	調整したいビデオ出力ポートを選択するにはこのスイッチを使用してください。
2	ビデオゲインチューナー/ビデオ補正チューナー	距離に応じて信号の強さを調整するには、ビデオゲインチューナーおよびビデオ補正チューナーを使用してください。詳細は、p.29「デスキューおよび画像補正」を参照してください。
3	RGB チューナー (CE775R のみ)	CE775R の場合、距離に応じて RGB 信号のタイミング遅延を同期させるには、RGB カラー(R/G/B 埋め込みチューナー)を調整してください。これらのチューナーを回すとデスキュー OSD が表示されます(有効にしている場合)。

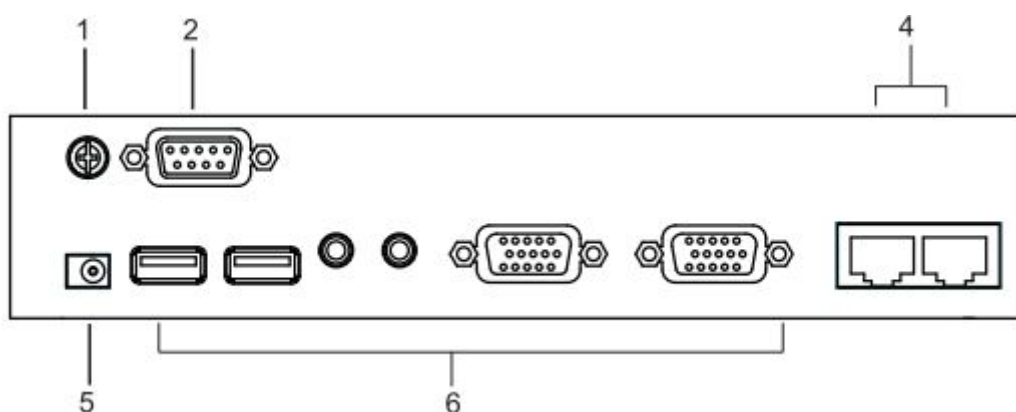
(表は次ページに続きます。)

No.	名称	説明
4	PC 遠隔起動プッシュボタン	<p>RS-232 ポート経由でローカル側のコンピューターを起動させるには、PC 遠隔起動プッシュボタンを押してください。</p> <p>このボタンを 3 秒間押したままにすると、両方の出力ポートのビデオ画質を調整します。</p> <p>詳細は p.30「PC の遠隔起動」を参照して下さい。</p>
5	操作モードプッシュボタン	<p>このプッシュボタンはリモートコンソールから利用できる操作モードを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ オートローカルとリモートコンソールの両方からシステムが操作できます。</li> <li>◆ リモートリモートコンソールのみがシステムを操作できます。</li> </ul> <p><b>注意:</b> デフォルトの操作モードは「オート」となっています。詳細は、p.27「操作モード」をご参照ください。</p> <p>また、ファームウェアのバージョンをアップグレードする際にも使用します。詳細は p.30「ファームウェアのアップグレード」を参照してください。</p>
6	LED	<p>CE774R/CE775R には LED が 2 つあり、操作状況を表示します。詳細は、p.31「LED の表示」をご参照ください。</p>

### CE774L/CE775L(ローカルユニット)リアパネル



### CE774R/CE775R(リモートユニット)リアパネル



No.	名称	説明
1	接地ターミナル	(ユニットを接地するのに使用する)接地線をここに接続します。詳細は、p.23「製品の接地」をご参照ください。
2	RS-232 シリアルポート	タッチパネルやバーコードスキャナーなどの RS-232 シリアルデバイスはこのポートに接続します。
3	KVMポート(ローカルユニットのみ)	本製品に同梱されている USB KVM ケーブルのコネクターを対応するポートに接続してください。VGA ポートに VGA ディスプレイデバイスを接続してください。

(表は次ページに続きます。)

No.	名称	説明
4	リモート I/O (サブ/メイン)	リモートとローカルユニットを接続するカテゴリ 5e/6 ケーブルをここに接続します。
5	電源ジャック	DC 電源アダプターからのケーブルをここに接続します。
6	コンソールポート	ローカルとリモートコンソールのキーボード、モニター、マウスを各ポートに接続します。 ミニステレオポートはスピーカー (グリーン) およびマイクロフォン (ピンク) 用です。

## 第2章 セットアップ

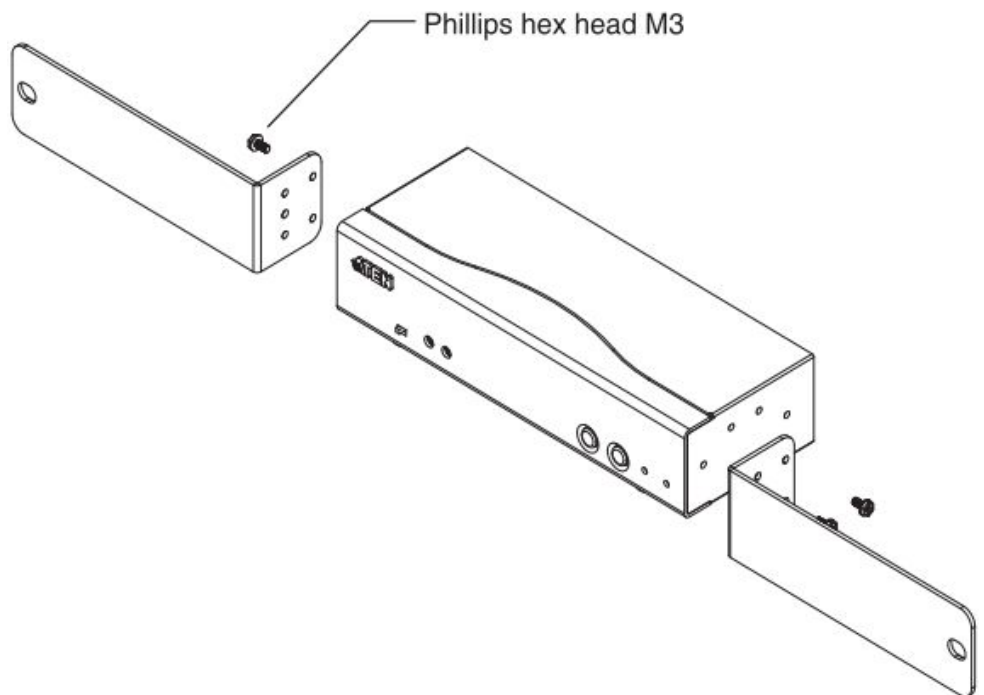


1. 機器の設置に際し重要な情報を p.4 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。

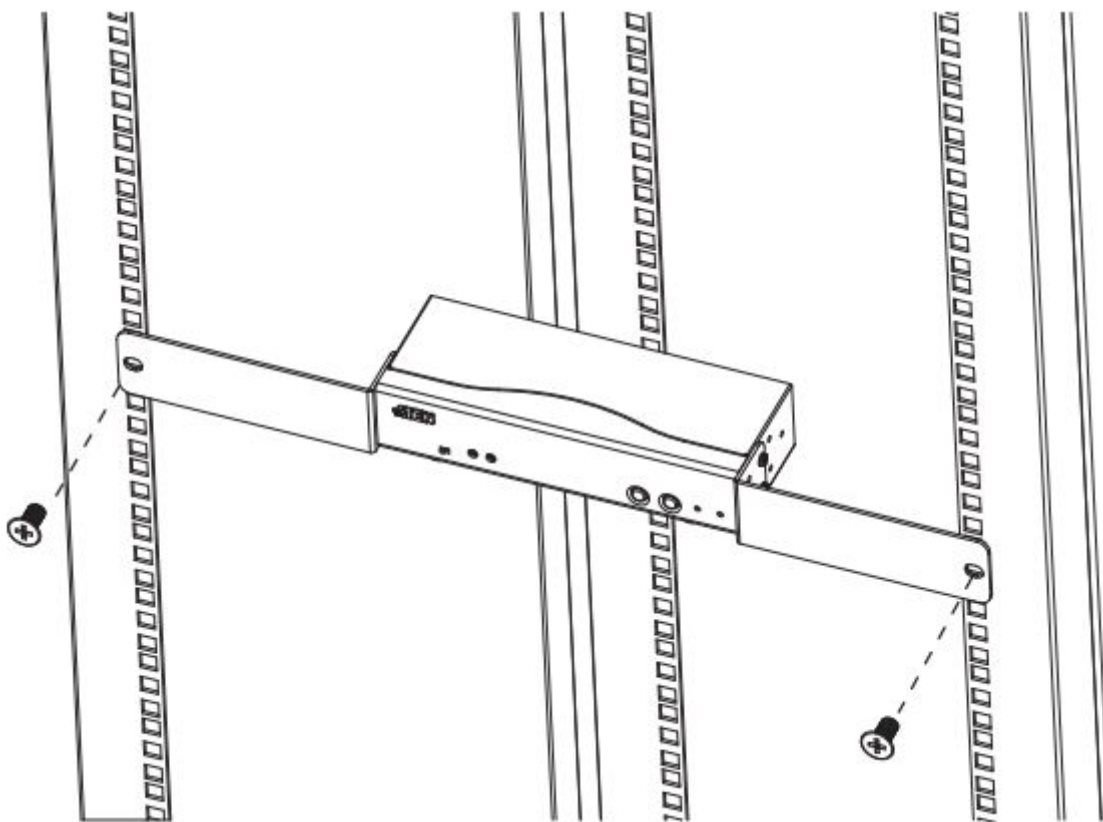
### ラックへの取り付け

便利で柔軟性を持たせるために、CE774L/CE775L と CE774R/CE775R はシステムラックに取り付けることができます。本製品をラックへ取り付けるには、下記の手順に従ってください。

1. ラックマウントキットに同梱されているネジを使用して、下図のように本製品のサイドパネルにマウント用の金具をネジ止めしてください。



2. 手順1で取り付けした金具をラックの適当な場所にネジ止めしてください。



---

**注意:** ラックにマウントするためのネジは同梱されていません。お使いのラックに適したネジを別途ご用意ください。

---

## セットアップ

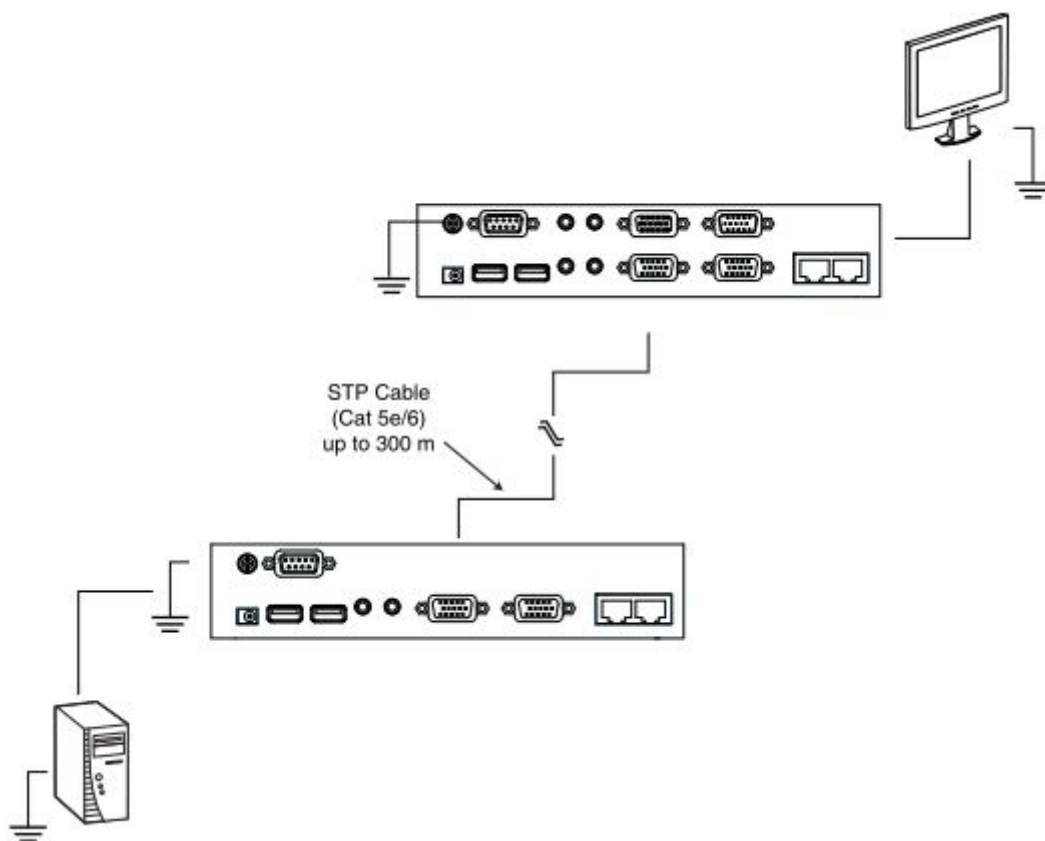
### 製品の接地

機器への破損を防ぐために、ご使用する機器すべてに適切な接地をしてください。

1. 接地線の一端を製品のグラウンドターミナルに、もう一端を適切な接地物にそれぞれ接続して、各ユニットの接地を行ってください。

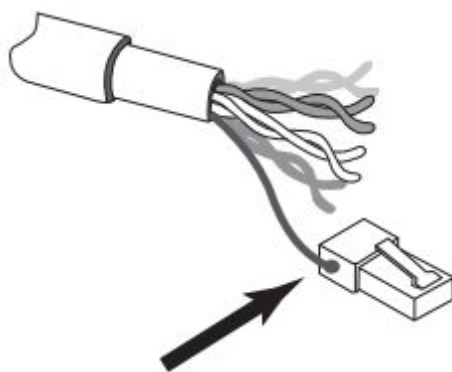
**注意:** 本製品に接地線は同梱されていません。適切なケーブルについては、販売店までお問い合わせください。

2. CE774L/CE775Lに接続されているコンピューターおよびCE774R/CE775Rに接続されているモニターにもそれぞれ正しく接地してください。

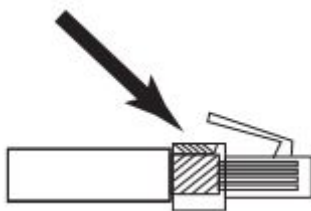


3. 接地の効果を高めるために、ローカル/リモートの各ユニットはSTPケーブルを使って接続してください。方法は2種類あります。

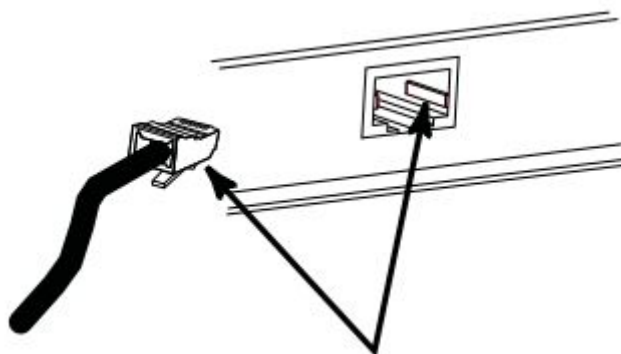
- a) STPケーブルには、信号の伝送に使用する8線以外に接地線を有しているタイプがあります。このタイプのケーブルの場合は、接地線を図のようにRJ-45コネクタにはんだ付けしてください。



- b) 2つ目の方法はSTPケーブルシールドをアースとして使用しているタイプのものです。その場合、下図のようにRJ-45コネクタの中の上部がしっかりとシールドに接触していることを確認してください。



いずれの方法においても、下図のようにRJ-45コネクタのサイドがRJ-45ソケットのサイドにある接地接点としっかり接していることを確認してください。



## セットアップ

CE774/CE775 USB デュアルディスプレイ KVM エクステンダーシステムのセットアップに必要な作業は、ケーブルを接続するだけです。接続するデバイスの電源がすべて切られていることを確認してください。次のページにある接続図を参考にしながら、下記の手順でセットアップを行ってください。

1. ローカルコンソールとして使用するデバイス(マウス、キーボード、モニター、マイクロフォン、スピーカー)をローカルユニット(CE774L/CE775L)のリアパネルにあるコンソールセクションの対応ポートにそれぞれ接続してください。各ポートには各デバイスのアイコンが描かれています。
2. 製品に同梱されている USB KVM ケーブルの各コネクタと VGA ケーブルを、ローカルユニット(CE774L/CE775L)のリアパネルにある CPU セクションのポートにそれぞれ接続してください。
3. 手順 2 の USB KVM ケーブルのもう一方の端をローカルコンピューターの適切なポートにそれぞれ接続してください。各コネクタにはそれぞれのアイコンが描かれています。

---

**注意:** CE774/CE775 に KVM スイッチを組み合わせて使用する場合は、手順 2 の USB KVM ケーブルのもう一方の端を KVM スイッチの適切なポートに接続してください。

---

4. シリアルデバイスを操作するには、ローカルユニットの RS-232 シリアルポートをローカルコンピューターのシリアルポートに接続してください。タッチパネルやバーコードスキャナー等のシリアルデバイスはリモートユニットの RS-232 シリアルポートに接続してください。
5. カテゴリ 5e/6 ケーブルを CE774L/CE775L のリモート I/O ポートに接続し、このカテゴリ 5e/6 ケーブルのもう一方の端をリモートユニット(CE774R/CE775R)の I/O ポートに接続してください。

---

**注意:** サブのカテゴリ 5e/6 ケーブルを接続すると、「2」と書かれた出力ポートに接続された)セカンド VGA ディスプレイを操作することができます。セットアップした機器を動作させるには、メインのカテゴリ 5e/6 ケーブルを接続するだけで十分です。

---

6. 本製品に同梱されている電源アダプターを電源コンセントに接続してから、この電源アダプターのケーブルを CE774L/CE775L の電源ジャックに接続してください。

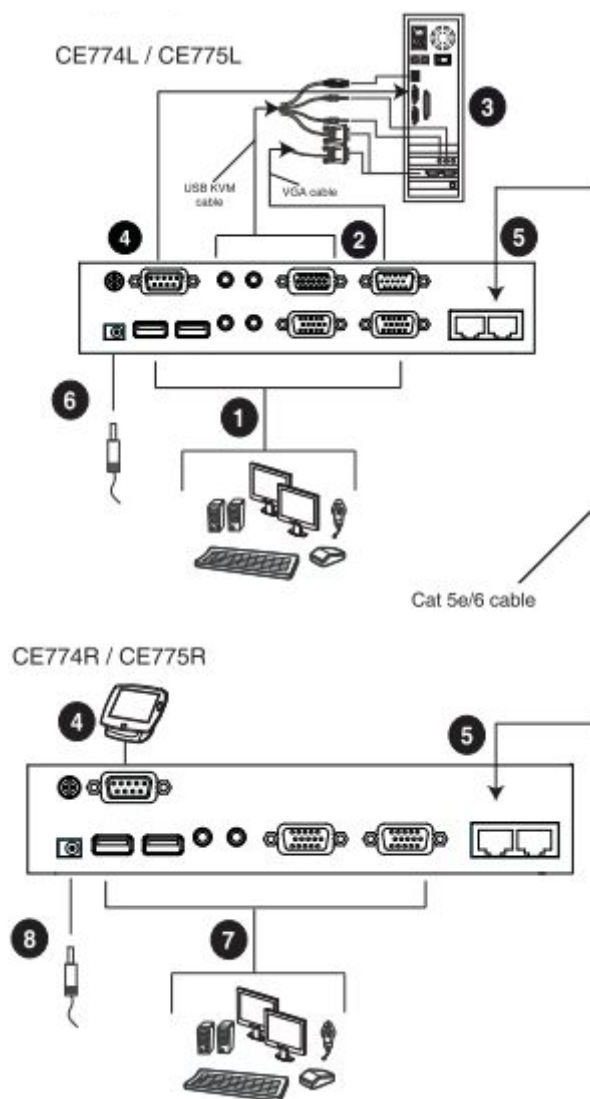
7. リモートコンソールデバイス(マウス、キーボード、モニター、スピーカー、マイクロフォン)のケーブルを CE774R/CE775R のコンソールサイドの各ポートに接続してください。
8. 製品に同梱されている残りの電源アダプターを電源コンセントに接続してから、この電源アダプターのケーブルを CE774R/CE775R の電源ジャックに接続してください。

---

**注意:** カテゴリ 5e/6 ケーブルをホットプラグすると、自動的に CE774/CE775 のゲイン/補正コントロールおよびデスキュー機能が起動します。

---

## 接続図



# 第3章 操作方法

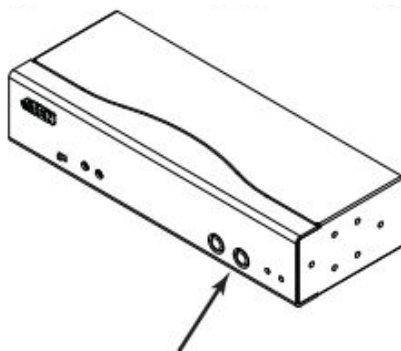
## 操作モード

CE774/CE775 USB KVM エクステンダーには下表のように、ローカル、オート、リモートの3つの操作モードがあります。

操作モード	説明
ローカル	ローカルコンソールのみがコンピューターを操作できます。リモートコンソールのキーボードとマウスは使用できません。
オート	ローカルとリモートコンソール共にコンピューターの操作ができます。ただし、同時にはアクセスできません。アクセス権のないコンソールは、アクセス権があるコンソールからのデータ入力終了するまで待たなければなりません。
リモート	リモートコンソールでコンピューターの操作ができます。リモートモードはCE774L/CE775Lのプッシュボタンで「オート」に設定し、ローカルコンソールが待機状態のときに使用可能となります。操作モードのデフォルト設定は、「オート」になっています。

## 操作モードの選択

本製品のフロントパネルにある「操作モード選択スイッチ」で、USB デュアルディスプレイ KVM エクステンダーの操作モードとデスキュー機能が操作できます。このボタンを押すと、下記のように操作モードが交互に切り替わります。



スイッチ	説明
ローカル (CE774L/ CE775L) 選択スイッチ	「オート」と「ローカル」を交互に切り替えます。ローカルモードでは、ローカルコンソールのキーボード/マウスがアクセスでき、コンピューター (または KVM スイッチ経由のコンピューター) を操作できます。
リモート (CE774R/ CE775R) 選択スイッチ	「オート」と「リモート」を交互に切り替えます。リモートモードでは、リモートコンソールのキーボード/マウスがアクセスでき、コンピューター (または KVM スイッチ経由のコンピューター) を操作できます。

システムがローカルモードになっている場合、リモートユニットの選択スイッチは無効となり、押しても反応がなく、リモートオペレーターは操作を引き継ぐことができません。ローカル選択スイッチが押されてシステムがオートモードに戻った後、リモート選択スイッチは使用可能となります。

同様に、システムがリモートモードになっている場合、ローカルユニットの選択スイッチは無効となり、ローカルオペレーターは操作を引き継ぐことができません。リモート選択スイッチが押されてシステムがオートモードに戻った後、ローカル選択スイッチは使用可能となります。

操作モードプッシュボタンはまた、ファームウェアをアップグレードする際にも使用されます。詳細は、p.30「ファームウェアのアップグレード」を参照してください。

## デスクューおよび画像補正

---

画質は距離に応じて劣化します。CE774R/CE775R のフロントパネルにある埋め込み式のチューナーを使用してリモートコンソールの画質を調整し、画面の揺らぎやちらつきを修正することができます。

- ◆ ビデオ信号を微調整する必要がある場合は、ゲインチューナーおよび補正チューナーを使用して調整してください。
- ◆ CE775R には、ゲインチューナーおよび補正チューナーに加えて、カラー (R/G/B) チューナーを使用して、画像の色設定を調整し、スキュー効果を補正してください。

埋め込み式チューナーは小さいサイズのマイナスインドリバーを使用してまわすことができます。

チューナーを回すと、この機能が有効になっている場合、画質を可視的に調整できるデスクュー OSD が表示されます。また、ホットキーセッティングモード (HSM) を起動後に、[O]または[o]を入力することによって、デスクュー OSD を表示することができます。詳細は、p.34「ホットキー一覧表」を参照してください。

## PC の遠隔起動

---

リモートコンソールからローカル側にあるコンピューターを遠隔起動させたい場合、CE774R/CE775RのフロントパネルにあるPC 遠隔起動プッシュボタンを使用してください。このコマンドを動作させるには、RS-232 ケーブルを使用して、ローカルコンピューターが CE774L/CE775L に接続されていることを確認してください。

- 
- 注意:**
1. さらに、PC 遠隔起動ボタンを 3 秒間押したままにすると、自動的に画像表示の品質を調整します(両出力)。
  2. PC の BIOS が RS-232 遠隔起動に対応していなければなりません。
- 

## ファームウェアのアップグレード

---

ファームウェアをアップグレードする手順については、p.38「ファームウェアアップグレードユーティリティ」を参照してください。手順の要約は下記の通りです。

1. 「操作モード」ボタンを押したままにして、ローカルまたはリモートユニットの電源を入れて、ファームウェアアップグレードモードを起動してください。
2. ストレートケーブルを使用して、コンピューターをローカル/リモートユニットの RS-232 ポートに接続してください。
3. ATEN ファームウェアアップグレードユーティリティを使用して、ファームウェアをアップグレードしてください。

---

**注意:** この手順は、ローカルとリモートユニットそれぞれに対して行ってください。

---

## LED の表示

CE774/CE775 のローカルとリモートユニットのフロントパネルにあるLED は下表のように操作状況を表示します。

### CE774L/CE775L (ローカルユニット)

LED	操作モード
ローカル (グリーン)	ローカルコンソールがアクティブな時に点灯します (リモート LED ランプは消灯)。 ◆ ホットキーセッティングモードの場合も点灯します。リモートコンソールのキーボードとマウスは無効になります。 ◆ 5 秒経ってもホットキーが入力されない場合、本製品はオート操作モードになり、LED は消灯します。  リモートコンソールがアクティブな時は消灯します (リモート LED は点灯)。 オート操作モードの場合は、点滅します。
リモート (グリーン)	リモートコンソールがアクティブな時に点灯します (ローカル LED は消灯)。 ローカルコンソールがアクティブな場合は消灯します (ローカル LED は点灯)。 オート操作モードの場合は、点滅します。

### CE774R/CE775R (リモートユニット)

LED	操作モード
リンク (グリーン)	ローカルユニットとの接続がアクティブな時に点灯します。 ローカルユニットとの接続に問題が発生した場合には点滅し、「リモート LED」は消灯します。
リモート (グリーン)	リモートコンソールがアクティブな時に点灯します。 ローカルコンソールがアクティブな時は消灯します。 オート操作モードの際は点滅します。

## ホットキーセッティングモード

---

アドミニストレーターとユーザーは、ホットキーを組み合わせて、デスクュー機能対応 USB デュアルディスプレイ KVM エクステンダーの作業環境のパラメーターを設定することができます。ホットキーの入力は全てホットキーセッティングモード(HSM)を起動させることから始まります。

### ホットキーセッティングモードの起動

ホットキーセッティングモード(CE774L/CE775L のみ)を起動させるには、以下を行ってください。

1. [Ctrl]キーを押したままにしてください。
2. [F12]キーを押して指を離してください。
3. 最後に[Ctrl]キーから指を離してください。

---

**注意:** HSMを起動させるための代替ホットキーもあります(詳細はp.33「ホットキーセッティングモードの代替起動キー」を参照)。

---

### ホットキーモードが起動している場合

- ◆ Caps Lock および Scroll Lock の LED が連続して点滅し、ホットキーセッティングモードが有効であることを表します。ホットキーセッティングモードを終了すると、点滅を止め、通常の状態に戻ります。
- ◆ モニター画面にコマンドラインが表示されます。コマンドラインのプロンプトは、青地に黄色の文字で「Hotkey」という単語です。入力したホットキー情報がコマンドラインに表示されます。
- ◆ 通常のキーボードおよびマウスの機能は一時停止し、ホットキーに準拠したキーボード入力とマウスクリック(詳細は次章を参照)のみ入力できます。
- ◆ いくつかのホットキーは入力が完了すると自動的にホットキーセッティングモードを終了します。それ以外のホットキーは手動で HSM を終了させなければなりません。ホットキーセッティングモードを手動で終了させるには、[Esc]キーまたは[スペースキー]を押してください。

## ホットキーセッティングモードの代替起動キー

デフォルトのホットキーセッティングモードの起動キーがコンピューター上で動作しているプログラムと競合した場合に備え、このキーの代替起動キーが提供されています。

ホットキーセッティングモードの代替キーに切り替える場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.32 参照)。
2. [H]キーを押して指を離してください。  
ホットキーセッティングモードの起動キーが[Ctrl]キーから[Num Lock]キーに、[F12]キーから[-](マイナス)キーに変更されます。

---

**注意:** この操作は、デフォルトキーと代替キーに交互に切り替えます。元の[Ctrl][F12]のホットキーセッティングモード起動キーに戻す場合は、もう一度HSMを起動して[H]キーを押してください。

---

## キーボード操作プラットフォーム

CE774/CE775のデフォルト設定は、PC 互換のキーボード操作プラットフォームに設定されています。Mac または Sun を使用する場合は、キーボードの操作プラットフォームを以下のように変更できます。

1. HSM を起動してください(p.32 参照)。
2. 適切なファンクションキーを押して指を離してください(下表参照)。

ファンクションキー	機能
[F1]	現在 KVM 操作ができるポートに PC 互換キーボード操作プラットフォームを設定します。
[F2]	Mac キーボードエミュレーションを有効にします。
[F3]	Sun キーボードエミュレーションを有効にします。
[F4]	KVM の現在の設定をプリントアウトし、ホットキーセッティングモードを終了します。

- 
- 注意:**
1. 括弧書きは入力するキーを表しています。そこに示されたキーを入力するだけです。括弧書きは入力しないようにしてください。
  2. 設定が終了すると、自動的にホットキーセッティングモードを終了します。
-

## ホットキー一覧表

ホットキーセッティングモード(p.32 参照)を起動させた後、下記のキーのいずれかを入力して、そのキーに対応した機能を実行してください。









キー	機能
[H]	ホットキーセッティングモード起動キーをデフォルトキー ([Ctrl][F12])と代替キー ([Num Lock][－])に交互に切り替えます。
[F1]	現在 KVM 操作ができるポートに PC 互換キーボード操作プラットフォームを設定します。
[F2]	現在 KVM 操作ができるポートに Mac キーボードキーボード操作プラットフォームを設定します。
[F3]	現在 KVM 操作ができるポートに Sun キーボードキーボード操作プラットフォームを設定します。
[F4]	KVM の現在の設定をプリントアウトし、HSM を終了します。
[O]または[o]	デスクューOSD を有効にし、ホットキーセッティングモードを終了します。
[P]または[p]	デスクューOSD を無効にし、ホットキーセッティングモードを終了します(デスクューOSD はデフォルトで無効となっています)。
[R]または[r]	下記のように設定をデフォルト値にリセットします。 <ul style="list-style-type: none"><li>◆ ホットキーセッティングモードの起動:[Ctrl]+[F12]</li><li>◆ OS 設定:PC 互換 OS</li><li>◆ デスクューOSD:無効</li></ul>
[Esc]または[スペースキー]	ホットキーセッティングモードを終了します。

**注意:** 括弧書きは入力するキーを表しています。そこに示されたキーを入力するだけです。括弧書きは入力しないようにしてください。

# 第4章 キーボードエミュレーション

## Mac キーボード

キーマッピングのエミュレーション機能により、PC 互換(101/104 キー)キーボードは Mac キーボードのファンクションキーを使用することができます。エミュレーションマッピングは下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15



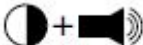




---

**注意:** 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー)を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

---

## Sun キーボード

[Ctrl]キーとほかのキーを組み合わせることで、PC 互換(101/104 キー)キーボードからキーマッピングのエミュレーション機能を利用して Sun のキーボードのファンクションキーを使用することができます。該当する機能については下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Sun キーボード
[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl] [F2]	Again
[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [F7]	Open
[Ctrl] [F8]	Paste
[Ctrl] [F9]	Find
[Ctrl] [F10]	Cut
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Ctrl] [H]	Help
	Compose
	

**注意:** 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー)を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

# 第5章

## ファームウェアアップグレードユーティリティ

Windows ベースのファームウェアアップグレードユーティリティを使用して、本製品のファームウェアをスムーズに自動的にアップグレードすることができます。

ユーティリティはデバイス毎にあるファームウェアアップグレードパッケージの一部となっています。新しいファームウェアのバージョンがリリースされると、ファームウェアアップグレードパッケージが弊社の Web サイトにアップされるので、下記 Web サイトにて最新のファームウェアや関連情報を定期的にご確認ください。

<http://www.atenjapan.jp/>

### 作業を始める前に

---

アップグレードを始める前に、以下の作業を行ってください。

1. ローカルまたはリモートユニットが接続されたコンピューターを使用して、弊社のインターネットサポートサイトからご使用のデバイスの型番 (CE774/CE775) を選択し、利用可能なファームウェアアップグレードパッケージのリストを入手してください。

---

**注意:** ファームウェアアップグレードユーティリティは各ユニットにより異なるため、一度にアップグレードできるのは 1 台の CE774/CE775 (ローカルまたはリモートユニット) だけです。

---

2. インストールするファームウェアアップグレードパッケージ (通常は最新版) を選択し、コンピューターにそれをダウンロードしてください。
3. ローカルユニットまたはリモートユニットのフロントパネルにある「操作モード」ボタンを押したままにして、ファームウェアアップグレードモードを起動してください。
4. RS-232 シリアルケーブル (ストレート) を使用して、コンピューターの COM ポートと CE774L/CE775L または CE774R/CE775R の RS-232 ポートを接続してください。

---

**注意:** 本製品に RS-232 ケーブルは同梱されていません。

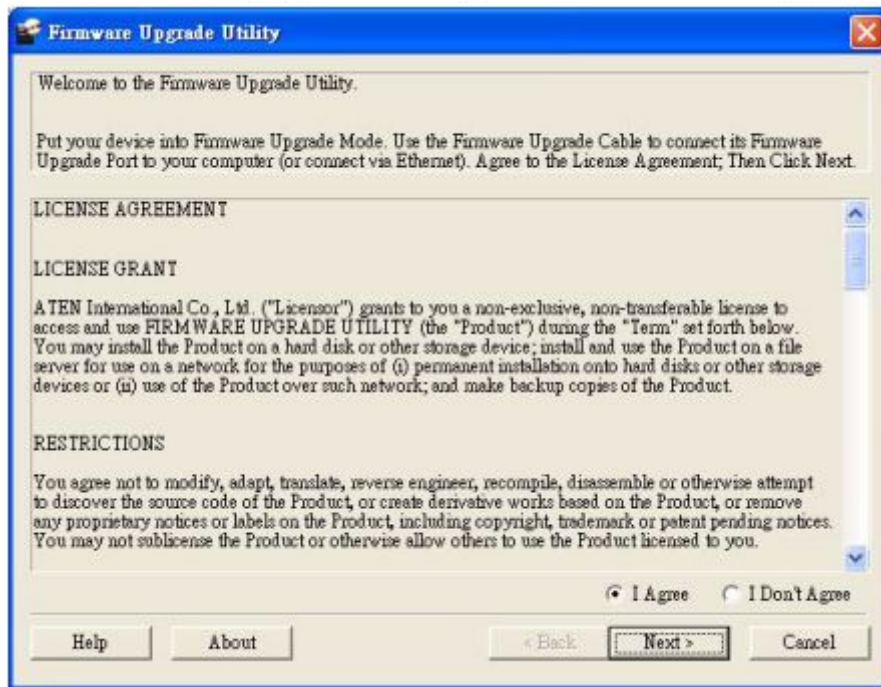
---

## アップグレードの開始

---

下記の手順に従ってファームウェアをアップグレードしてください。

1. アイコンをダブルクリックするか、またはコマンドラインにフルパスを入力するかして、ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージファイルを実行してください。  
ファームウェアアップグレードユーティリティの初期画面が表示されます。



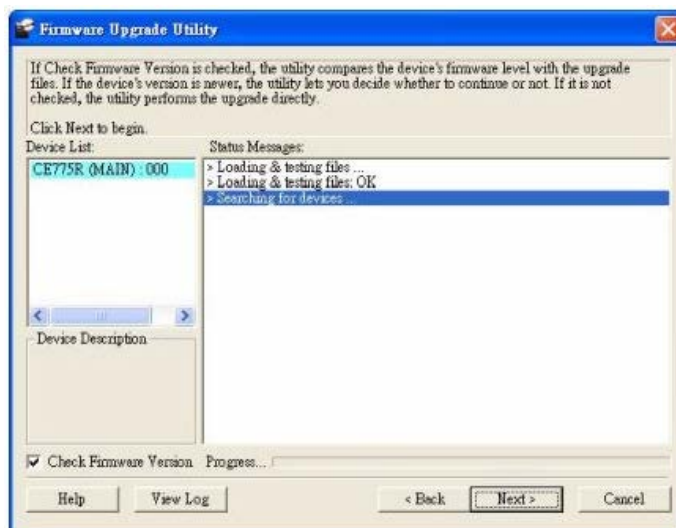
---

**注意:** この項目で表している画面の図は参照用です。ファームウェアアップグレードユーティリティの実際の画面では文章やレイアウトがこれらの図例と多少異なることがあります。

---

2. ライセンス使用許諾契約を確認し、同意する場合は「I Agree」ラジオボタンを有効にしてください。

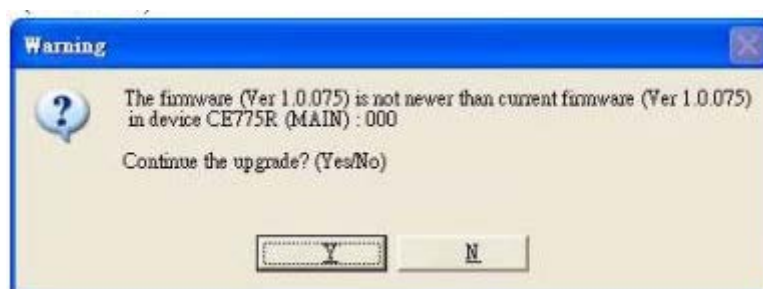
3. 「Next」ボタンをクリックしてください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。



ユーティリティがセットアップされた機器を検査します。ローカルまたはリモートユニットが「Device List(デバイスリスト)」パネルに表示され、アップグレードするように自動的に選択されます。

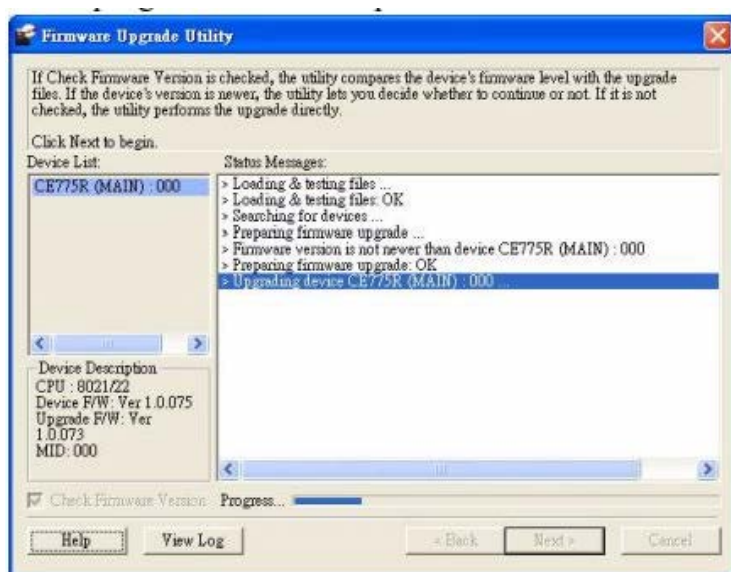
4. 「Next」をクリックしてアップグレードを実行してください。

「Check Firmware Version」を有効にするとユーティリティはデバイスのファームウェアのバージョンとファームウェアアップグレードファイルのバージョンとを比較します。デバイスのファームウェアのバージョンがアップグレードファイルのバージョンよりも新しければ、ダイアログボックスにその旨が表示されるので、このままアップグレードを続ける場合は「Y」を、キャンセルする場合は「N」を選択してください。



「Check Firmware Version」を有効にしなかった場合、ユーティリティはデバイスのファームウェアとアップグレードファイルのバージョンを比較せずにそのままインストールされます。

5. アップグレードの進行具合は「Status Messages」パネルに表示され、またプログレスバーに進捗状況が表示されます。



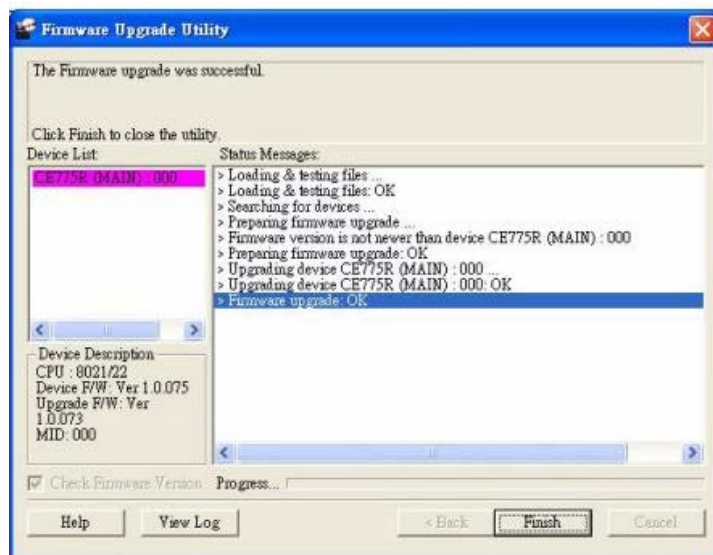
「Device List」パネルにあるデバイス名のハイライト色は下記の状況を表しています。

- ◆ グリーン: デバイスをアップグレードする準備中。
- ◆ ブルー: ファームウェアアップグレードの実行中。
- ◆ レッド: ファームウェアのアップグレードが成功。

## アップグレードの成功

---

アップグレードが完了すると、以下の画面が表示され、アップグレードが成功したことを表します。



1. 「Finish」をクリックしてファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。
2. ファームウェアのアップグレードに成功した後、本製品の電源アダプターを外してください。
3. 本製品に電源アダプターを接続して、電源を入れてください。

## アップグレードの失敗

---

「Upgrade Succeeded(アップグレード成功)」の画面が表示されない場合は、アップグレードに失敗したことを意味します。アップグレードの手順を最初からまたやり直してください。

# 付録

## 製品仕様

### CE774

機能		CE774L	CE774R
コンピューター接続数		1	-
コンソール接続数		1	1
コンピューター側対応 インターフェース	キーボード	USB	-
	マウス		
コンソール側対応 インターフェース	キーボード	USB	USB
	マウス		
コンピューター側 コネクタ	キーボード	SPHD メス×1	-
	マウス		-
	モニター		-
	スピーカー	ミニオーディオジャック ×1	-
	マイク	ミニオーディオジャック ×1	-
	VGA 入力	ミニ D-sub15 ピンオス ×1	-
	RS-232	DB-9 ピンメス×1	-
コンソール側 コネクタ	キーボード	USB タイプ A メス×1	
	マウス	USB タイプ A メス×1	
	モニター	ミニ D-sub15 ピンメス×2	
	スピーカー	ミニオーディオジャック×1	
	マイク	ミニオーディオジャック×1	
	メイン	RJ-45×1	
	サブ	RJ-45×1	
RS-232	-	DB-9 ピンオス×1	

(表は次ページに続きます。)

機能		CE774L	CE774R
スイッチ	操作モード 選択	プッシュボタン×1	
	PC 起動	-	プッシュボタン×1
	ビデオ出力 ポート選択	-	スライドスイッチ×1
	ビデオゲイン チューナー	-	調節ツマミ×1
	ビデオ補正 チューナー	-	調節ツマミ×1
	RGB チュー ナー	-	-
LED	ローカル	グリーン×1	-
	リモート	グリーン×1	
	リンク	-	グリーン×1
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	
キーボード・マウスエミュレーション		USB	
電源仕様(アダプター)		型番:0AD8-0605-24EG 入力:AC100~240V 50~60Hz 出力:DC5.3V 2.4A	
消費電力		4.38W	7.95W
最大延長距離 (解像度)		150m (1,600×1,200@60Hz)	
解像度		1,920×1,200@60Hz (30m) 1,600×1,200@60Hz (150m)	
動作環境	動作温度	0~50℃	
	保管温度	-20~60℃	
	湿度	0~80%RH、結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		690g	
サイズ(W×D×H)		75.8×200×42 mm	
同梱品		2L-5302U(1.8m)×1 VGA ケーブル×1 電源アダプター×2 ラックマウントキット×1 クイックスタートガイド×1	

## CE775

機能		CE775L	CE775R
コンピューター接続数		1	-
コンソール接続数		1	1
コンピューター側対応 インターフェース	キーボード	USB	-
	マウス		
コンソール側対応 インターフェース	キーボード	USB	USB
	マウス		
コンピューター側 コネクタ	キーボード	SPHD メス×1	-
	マウス		-
	モニター		-
	スピーカー	ミニオーディオジャック ×1	-
	マイク	ミニオーディオジャック ×1	-
	VGA 入力	ミニ D-sub15 ピンオス ×1	-
	RS-232	DB-9 ピンメス×1	-
コンソール側 コネクタ	キーボード	USB タイプ A メス×1	
	マウス	USB タイプ A メス×1	
	モニター	ミニ D-sub15 ピンメス×2	
	スピーカー	ミニオーディオジャック×1	
	マイク	ミニオーディオジャック×1	
	メイン	RJ-45×1	
	サブ	RJ-45×1	
	RS-232	-	DB-9 ピンオス×1

(表は次ページに続きます。)

機能		CE775L	CE775R
スイッチ	操作モード 選択	プッシュボタン×1	
	PC 起動	-	プッシュボタン×1
	ビデオ出力 ポート選択	-	スライドスイッチ×1
	ビデオゲイン チューナー	-	調節ツマミ×1
	ビデオ補正 チューナー	-	調節ツマミ×1
	RGB チュー ナー	-	調節ツマミ×3
LED	ローカル	グリーン×1	-
	リモート	グリーン×1	
	リンク	-	グリーン×1
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	
キーボード・マウスエミュレーション		USB	
電源仕様(アダプター)		型番:0AD8-0605-24EG 入力:AC100~240V 50~60Hz 出力:DC5.3V 2.4A	
消費電力		4.38W	10.27W
最大延長距離 (解像度)		300m (1,280×1,024@60Hz)	
解像度		1,920×1,200@60Hz (150m) 1,280×1,024@60Hz (300m)	
動作環境	動作温度	0~50℃	
	保管温度	-20~60℃	
	湿度	0~80%RH、結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		690g	
サイズ(W×D×H)		75.8×200×42 mm	
同梱品		2L-5302U(1.8m)×1 VGA ケーブル×1 電源アダプター×2 ラックマウントキット×1 クイックスタートガイド×1	

## トラブルシューティング

---

### 概要

操作上の問題は様々な理由によって起こります。問題が発生したら、まずケーブルが各ポートに正しく接続されていることを確認してください。

問題	解決方法
画面に何も表示されない	使用するケーブルがすべて正しく接続されていることを確認してください。
表示画質が悪い	もう一度、カテゴリ 5e/6 ケーブルをホットプラグさせて、デスクュー機能を起動させてください。 CE774R/CE775R のゲイン/補正チューナーを使用して、ビデオ信号のゲイン値を上げたり下げたりすることで画質を改善することができます。 リフレッシュレートを下げて表示画質を上げてください。

### SPHD コネクタについて

---



本製品は KVM ポート、またはコンソールポートに対して SPHD コネクタを使用しております。コネクタの形状に改良を加えておりますので、専用の KVM ケーブルのみ製品に接続することが可能です。